

# 一人でなく チームでつくる保育

目黒三田保育園キミトミライト

---



## 職員一人ひとりが コミュニケーションを取り合うことで、 作り上げるチーム保育とは？

職員同士で話し合い、より円滑なコミュニケーションをとり、同じ目標に向かい保育をしていきたいという意見が多かったため、このテーマに決めました。

保育者一人だけで子どもを見守ると、一人で見える範囲、目の前の子どもの理解、主観のみでの関わりに限られてしまいます。それを複数の保育者が連携し、子どもたちと関わることで多くの目で見守ることが出来、子どもの理解が進み、興味関心をより探れ、多角的に関われると考えます。しかし、「ただ複数で保育する」というだけでは関わりの視点や対応にズレが生じると予測されます。

よって常に保育者同士が十分なコミュニケーションを取り合い、連携の意識を高めておくことが大切だと考えました。

一人ひとりが連携しやすい職員集団が形成されるよう、コミュニケーションの質の向上を図りたいと思い、自分自身の行動を振りかえられるような取り組みや職員同士の話し合いの場を今よりも増やしていきたいと考えます。

## 自分自身の振り返りシートの実施とエピソードの共有

### ① コミュニケーションの質の向上を図るための振り返りシートの実施

- (1) はじめにコミュニケーションを取る上で大切だと思う行動や言動を挙げたチェック項目と保育中のエピソードを記入する振り返りシートを担当の職員が作成し全職員で4日間取り組む。
- (2) その後、職員からの意見をもとに、よりよいコミュニケーションに繋がると思う項目を追加した振り返りシートを見直し、再度4日間取り組む。
- (3) 担当の職員が作成したアンケートに全職員が振り返りシートに取り組んでみた感想や意見を記入する。
- (4) 全職員が記入した感想や意見を担当の職員がまとめ、園全体の職員に周知をする。

### ②保育をしている中でのエピソードの共有

保育中に起きた面白かったことや嬉しかったことを振り返りシートに記録し、保育者だけではなく看護師や栄養士、事務員が参加し職員同士で話す機会を設けることで、自身の楽しかった思いや感情を共有しコミュニケーションの充実を図る。

## モチベーション向上と職員間での気付き

### ① コミュニケーションの質の向上を図るためのチェックリストの実施

※職員からのアンケートより一部抜粋

- ・文章にして見える化することで意識して取り組むことが出来た
- ・自分の足りてないところに気が付けた
- ・周りの事を考えて行動をしようと意識した

## ② 保育をしている中でのエピソードの共有

※エピソード共有後のアンケートより一部抜粋

- ・それぞれの職員の価値観を知る機会になった
- ・子どものエピソードを聞き心が明るくなり働く意欲に繋がった
- ・普段関わりの少ない子どもや職員の事も知ることができた
- ・相手の気持ちを知り、より円滑なコミュニケーションをとれるようになった

職員一人ひとりの子どもに対する思いや関わり方を知れたことで、それぞれの職員が相手に合わせて話し方や伝え方を変えてみようとする職員が見られました。

また子どもの情報共有をし、新たな一面を知り、関わりの少ない子どもにも興味を持つことができ、自分のクラスだけでなく隣のクラスの子とも関わる時にも活かそうとする職員も増えました。

## 私たちが考えるチーム保育と今後の目標

振り返りシートや話し合いの場を設けたことで以前に比べ、コミュニケーションの質の向上に繋がったと考えます。それはリスト化したことで一人ひとりが他の職員を意識して日々の保育をすることができました。振り返りシートに取り組む中での価値観の違いに気付いた職員も多く、その違いを生かすため、違いの背景に耳を傾け周知しながら全員で受け入れることで、連帯感が生まれました。

また、話すことにより自分の思いだけで保育をするのではなく、職員一人ひとりのことを互いに思いやり、日々の保育に励んでいることを再確認できました。

「職場の雰囲気が明るくなり、コミュニケーションを取りやすい環境になった」や「子どもの日々の成長を側で感じ、一緒に喜び合えた」などの意見が複数聞かれ、とても良い機会となったのではないかと思います。

実践を通して職員間での価値観の違いを擦り合わせ、同じ思いを持ち保育を行っていくことが大切ではないかと考えます。